

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年10月14日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	安芸太田町	代表者名	橋本 博明
担当者部署	病院事業	連絡先電話番号	0826-22-2299
担当者役職	事務長	担当者氏名	菅田 裕二
住所	731-3810 広島県安芸太田町大字戸河内784-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	北岡 有喜
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	「ポケットカルテで安芸太田町民を守る」と題し、PHR「ポケットカルテ」の紹介と住民の健康を守るための保健・医療・福祉の連携とデータの管理や活用について指導を受けた。 ポケットカルテを導入した際の医療者や行政側の活用方法や健康相談における重要性について理解が得られる内容であった。 また、国も推奨している事業であるとの説明を受けたことにより、より現実的な事業であると認識できた。
アドバイザーへの要望事項	ポケットカルテを導入した際における行政側のデータ管理や住民への健康指導方法について説明をして頂きたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年9月24日	18時00分	19時40分		100
3-2. 派遣場所	会場名	戸河内ふれあいセンター		最寄駅	安芸太田町役場
	所在地	広島県山県郡安芸太田町大字戸河内759番地1		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	事前打合せ(実地)			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	安芸太田町議会議員、安芸太田町職員、安芸太田病院職員、町内医療・介護・薬局事業者	130人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	行政職員の健康指導方法 医療・介護連携をする際の費用	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	1. 病院の健康診断結果の情報提供 2. 特定検診の結果情報共有 3. 保健指導対象者の受診勧奨基盤 4. 予防接種勧奨と接種情報共有 5. 電子版母子健康手帳導入 6. 町HPの健康関連サイトとの連動	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	1. PHRの紹介 2. PHRを導入した際の医療者側のメリット 3. 住民側のデータの使用方法	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	1. PHRの説明を町職員、議会議員、病院職員が情報共有できたこと。 2. PHRを用いたの事業展開(行政・医療者・住民) 3. 住民が自分で持っているデータはマイナンバーと連結出来ること。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	解決策 PHRの重要性に関し、議会、行政、医療者、介護保険事業者、薬局が情報共有できた。 持ち越し 行政側のデータ管理と健康指導方法。 PHR構築に関する組織体制づくり	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 説明を受ける止まっていたためアンケートは実施せず、意見交換を行った。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	PHRを用いた保健・医療・介護データの連携による住民の健康管理 ローカル5Gを用いたDtoP,DtoDによる遠隔診療とPtoDの健康相談	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年10月14日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	安芸太田町	代表者名	橋本 博明
担当者部署	病院事業	連絡先電話番号	0826-22-2299
担当者役職	事務長	担当者氏名	菅田 裕二
		連絡先E-mail	
住所	731-3810 広島県安芸太田町大字戸河内784-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	北岡 有喜
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	9月24日に開催した講演会に参加できなかった病院、役場職員に対し、「ポケットカルテで安芸太田町民を守る」と題し、PHR「ポケットカルテ」の紹介と住民の健康を守るための保健・医療・福祉の連携とデータの管理や活用について指導を受けた。 役場保健師が、ポケットカルテを導入した際の健康相談の重要性について理解が得られる内容であった。
アドバイザーへの要望事項	ポケットカルテを導入する際の行政側と病院側の費用を教えてください。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年9月25日	10時00分	11時15分		75
3-2. 派遣場所	会場名	安芸太田病院		最寄駅	安芸太田病院前
	所在地	広島県山県郡安芸太田町大字下殿河内236		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	支援・助言(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	安芸太田町職員、安芸太田病院職員、町内介護事業者	31人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	行政職員の具体的な健康指導方法と住民への健診データの提供方法 医療・介護連携をする際の費用	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	1. 病院の健康診断結果の情報提供 2. 特定検診の結果情報共有 3. 保健指導対象者の受診勧奨基盤 4. 予防接種勧奨と接種情報共有 5. 電子版母子健康手帳導入 6. 町HPの健康関連サイトとの連携	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	1. PHRの紹介 2. PHRを導入した際の医療者側のメリット 3. 住民側のデータの使用方法 4. データ管理と個人情報保護との関係性	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	1 PHRの説明を病院職員と役場保健師が情報共有できたこと。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	解決策 住民自ら健診データを蓄積することの重要性 持ち越し 行政側のデータ管理と健康指導方法。 PHR構築に関する組織体制づくり	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 説明を受ける止まっていたためアンケートは実施せず、意見交換を行った。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	PHRを用いた保健・医療・介護データの連携による住民の健康管理 ローカル5Gを用いたDtpD,DtoDによる遠隔診療とPtoDの健康相談	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。